

# しおんだより VOL.6



池田貴之医師

江田将樹医師

白井大介医師

## 思温病院消化器チームがパワーアップ

おいしいものを、おいしくいただく。コロナの時代だからかもわかりませんが、食事をおいしくいただけることのありがたみを実感する日々でもあります。

おいしくいただくためには、胃腸の調子が良くなけてはいけません。胸のつかえや焼ける感じ、胃もたれや胃の痛み、おなかの膨満感や腹痛、便が黒かったり、赤かったり、はたまた、下痢や便秘の繰り返し…などなど、消化器に関する症状にはいろいろなものがあります。

**そんな症状にお悩みの方は、お気軽に、思温病院の消化器チームにご相談ください！**

忙しい毎日の中で、ちょっとした胃腸の症状や食欲不振などは、「まあ、いいか！」とやりすごしてしまいがちです。ただ、油断は禁物です。症状が長引いていたり、市販の胃薬や整腸薬でも改善が見られなかったり、また、思わぬ体重減少があったりした場合には、お気軽にご相談ください。大阪市立大学医学部消化器外科の先生方とも連携しながら、適宜、適切な治療法を選択し、みなさまの安全で安心な生活をサポートしていきたいと思っております。**(各先生の外来日は、HPもしくは、院内掲示をご覧ください！)**

消化器内科が専門の池田医師に、外科が専門の江田医師、白井医師が加わり、さらに充実した治療をお届けできるようになりました！

## 上部・下部消化管を調べるための検査機器も充実！



胃や大腸など、消化管の状態を調べるためには、やはり、消化器内視鏡検査が優れています。当院では、2年ほど前に最新式の内視鏡のセットを導入し、**上部消化管や下部消化管のカメラ**も複数準備しています。胃カメラや口からだけでなく、鼻から行う細径の経鼻内視鏡も完備しています。

さらに胃や大腸の状態を見るだけでなく、気になる箇所を採取したり、腫瘍や出血に対する処置を行ったりしています。

また、黄疸がでたり肝機能が急に上昇したりした場合には、胆汁という消化液の流れが石や腫瘍によって滞っている場合もあります。そのようなときには、これら内視鏡の検査を、レントゲン透視下に行い、必要があれば結石の除去やステントの留置を行うこともあります。その他、腸閉塞の方にイレウス管を留置するときに使われるのが、**X線透視室**です。



## 思温病院の「胡蝶蘭再生工場」(笑)



白や紫の可憐な花が咲き誇っています！

時々いただく胡蝶蘭。2週間ぐらいでお花が少しずつ散っていき、1ヶ月が過ぎるころには、茎だけになってしまい、なんだかかわいそうな感じになってしまいます。当院改装の折に頂いた胡蝶蘭もそうになっていたのですが、今や、毎年、きれいな花を咲かせてくれています。

御世話して下さっているのは環境整備を担当されている外部スタッフの方。御年をお伺いするとびっくり！の女性ですが、「水をやっているだけなんですけどねえ」と言いながら、朝のお掃除が終わったあと、ニコニコしながら再生活動を続けていただいています。病院5階の管理棟にあるので、一般にはご覧いただけませんが、写真だけでも！

しおんだより 第6号 発行日：令和3年4月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)